

まなびすと久喜

第 21 号

編集：久喜市生涯学習推進部
発行：久喜市教育委員会

日本一高齢者が住み良い

街づくりをめざして

久喜市高齢者大学で人と人がつながる



久喜市高齢者大学校友会会長

宮川 俊治

久喜市の人口は約15万人で65歳以上の高齢者は30%を占め、今後も一層の高まりが予想されています。高齢者にとっての幸せは、地元久喜で気兼ねなく語り合える仲間がいて、趣味に興じ、ボランティア活動に取り組み、社会とのつながりを持つことです。

この世代は、出世や収入の多寡を競う競争社会を全力で駆け抜けてきた人々です。定年後ホッと一息つき身辺を顧みる時、「地元仲間がいない」「趣味がない」「社会とのつながりがない」の『3つのなし』に愕然としています。

幸い久喜市には友達づくりに最適な「久喜市高齢者大学（以下高大と略す）」があります。来るべき高齢社会を想定し設立され、42年間の歴史を重ね4500名もの幸せを実現した卒業生を輩出しています。高大の最大の特徴は、4年制です。見ず知らずの同級生と4年間授業を楽しみ、趣味づくりに励み、絵や書の展示会に臨み、総合文化会館

で歌や踊りを披露し、ボランティア活動続ける仲間づくりです。肩書・職歴・学歴、金銭欲も出世欲も不要です。一人一人が体験してきたことを生かし、仲間のため、世のために行動します。その新たな仲間との幸せを生涯続けたいと平成21年、卒業生が設立したのが「久喜市高齢者大学校友会」です。現在、550名の会員が集い、生涯学習の場として充実した日々を送っています。

久喜市の高齢者層は、出生地の7割、勤務地の8割が久喜市以外、その上合併対象人数は倍増と高大へのニーズの高さは必定です。この多数を占める高齢者が、生きがいを持ち、仲間と共に明るく元気で過ごすことは、各人の幸せはもとより久喜市民にとっても共通の願いです。こうした幸せな街づくりに向け、550名は丸となり高大の発展に全力を注いでいます。幸せをめざす60歳以上の老若男女の入学を、心よりお待ちしております。

久喜市内学校紹介

久喜市立清久小学校

本校は、地域と共に開催する「きよく大運動会」をはじめ、お茶づくりや梨畑見学、エコ田んぼによる稲作体験等、地域を学びのフィールドとした学習を多く展開しています。また、令和2年度からは「久喜市版 未来の教室の創造」として、1人1台タブレットの導入による個別最適化の学習を進めています。タブレットを日常のツールの一つとして効果的に学習に活用しながら、清久地区ならではの豊かな体験との両輪で子どもの学びを深化させています。



- ★所在地 久喜市六万部 590
- ★電話 0480 (21) 0789
- ★創立 明治6年 (1873) 5月10日
- ★校長名 田上 智明
- ★児童数 129名 (5月1日現在)
- ★学級数 9学級 (特別支援学級3学級を含む)
- ★学校教育目標 「子供が活躍する潤いと創造性あふれる学校」
- 楽しく学習する子 (知)
- 思いやる子 (徳)
- 健康でたくましい子 (体)

久喜市立栗橋南小学校

本校は、開校148年目を迎えました。気持ちのよいあいさつができる、明るく温かな雰囲気のある学校です。子どもたちは、運動会や音楽会、縄跳び大会や校外学習等の学校行事に主体的に取り組んでいます。また、家庭・地域・学校が一体となり、一人一人のもてる力を存分に発揮できる教育活動を日々重ねています。更に、栗橋地区小中学校5校で「栗橋学園」として連携し、交流活動等各種の行事も行っています。

- ★所在地 久喜市南栗橋 4-21-1
- ★電話 0480 (52) 0235
- ★創立 明治6年 (1873) 5月15日
- ★校長名 小暮 恵子
- ★児童数 478名 (5月1日現在)
- ★学級数 19学級 (特別支援学級3学級を含む)
- ★学校教育目標
- 考える子
- やさしい子
- たくましい子



サークル紹介

詩吟神風流玉風会



代表 後藤 神朔
 ☎ 0480 - 22 - 7314
 場所 西公民館・清久コミュニティセンター
 及び自宅
 活動日 西公民館：日曜日（月2回）
 自宅：火曜日（月2～3回）

詩吟から学ぶ生涯学習

詩吟神風流玉風会は、発会以来40年を迎えました。平成12年4月に先代から後継し21年目になります。活動は、地元の清久やろう会詩吟クラブの会員と共に西公民館祭りでの発表や清久地区新年の集いに参加しています。また、久喜市吟詠剣詩舞連盟の集い、ボランティア活動、さらに神風流の全国及び埼玉県大会等、練習の成果を発表する数多くの機会をいただいています。

現在はコロナ禍の中、感染防止に注意しながら活動していますが、詩吟から学ぶことは多々あります。

○漢詩からは名句名言に出会い作者の志を知り、詩心詩情の豊かさ・奥深さから、その時代背景を学ぶことができます。

○詩吟は腹式呼吸による発声で健康維持に良く、詩の一字一句を丁寧に吟詠する時、そこには相乗された爽快感や満足感に浸ることができます。「生きがい」や「心の豊かさ」を求める心の時代を迎え、生涯を楽しく過ごすために、是非多くの人達に詩吟の魅力を知っていただきたいと思っています。

久喜子ども応援隊わくわく



代表 大友 幸子
 ☎ 090 - 9382 - 2836
 場所 久喜・栗橋・菖蒲（予定）
 活動日 月1回
 e-mail: kukiwakuwaku@gmail.com



現在、子どもの7人に1人が貧困状態といわれています。そこで、当団体は、貧困家庭の子どもの地域ぐるみで見守り育て、地域での子ども居場所づくりの一つとなること、多世代交流を行い、地域コミュニティの活性化を図ることを目的として令和2年4月1日に活動を開始しました。

現在の主な活動は、月1回のフードパントリーと子ども食堂（お弁当の配布）です。フードパントリーとは、食品支援が必要な家庭に、無料で食料品（食品ロスや規格外になった食品など）を配布する活動のことです。

支援が必要な家庭とはなかなかつながりにくのが現状です。そんな家庭にアプローチし、顔の見える関係を作り上げ、地域とつながるきっかけづくりになる活動にしたいと思っています。月に一度たくさんのボランティアの方々の力を借りながら食品支援を行っています。コロナ禍でやりたい事がなかなか思うようにいきませんが、できることを一歩ずつしっかりとやるという気持ちで頑張っています。

With コロナの時代を生き抜く

～『おうち時間』で充実した生活を～

長期の外出自粛生活でストレスも溜まりがち。『おうち時間』を楽しみ、少しの工夫で日々の生活を充実させて過ごしましょう。

DVDや動画配信サービスでドラマや映画鑑賞もいいですね。



数独やクイズ、パズルに挑戦し、頭脳の活性化を図りましょう。



今まで読めなかった本を読む、時間もあるのでじっくり読めますね。



ストレッチで心身ともにリラックス、近場の散歩も楽しみましょう。



料理のレシピをスクラップ、新しいメニューに挑戦して食事を楽しみましょう。



多彩なゲームでヒートアップ、時間を決めてやりましょう。



園芸や野菜作りに挑戦し、潤いのある生活を楽しみましょう。

